

写真：当社創業の地 福岡県北九州市門司【旧大阪商船ビル】

証券コード：8061

西華産業株式会社

第97期 第2四半期 株主通信

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日



西華産業株式会社

SEIKA CORPORATION



代表取締役社長 社長執行役員

櫻井 昭彦

## ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたびの台風被害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

当社の第97期(第2四半期)株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループは2017年4月より開始いたしました3か年の中期経営計画「CS2020」が総仕上げの最終年度を迎えております。全体戦略であります「新たなビジネスモデルの構築」「従来ビジネスの進化」「グループ経営・グローバル戦略の加速」「人材育成および職場環境の充実」を完遂することで、当社グループの「変革と進化」につなげてまいります。

これから社会がどのように変化しようとも、社会に貢献する価値ある企業グループであり続けるために、当社グループ一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

	2019年3月期実績	2020年3月期第2四半期実績	2020年3月期予想
売上高	1,571 億円	626 億円	1,350 億円
営業利益	21.1 億円	8.6 億円	24.0 億円
経常利益	24.1 億円	9.8 億円	27.0 億円
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	15.8 億円	4.7 億円	16.5 億円

**Q1** まずは2020年3月期(第97期)第2四半期の業績についてお聞かせください。

**A1** 当第2四半期における当社グループの連結業績につきましては、前年同期と比べまして化学・エネルギー事業の売上が減少したことに加え、電力事業で予想していました発電所向け大型部品等の受渡が下半期に繰り延べされたことにより、売上高は626億51百万円(前年同期比35.9%減)となりましたが、関係会社の業績が順調に推移した結果、営業利益は8億60百万円(同0.0%)、経常利益は9億86百万円(同0.6%減)となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金等調整により4億71百万円(同43.7%減)となりました。

**Q2** 2020年3月期(第97期)の見通しをお聞かせください。

**A2** 連結業績予想は、売上高1,350億円(前期比14.1%減)、営業利益24億円(同13.3%増)、経常利益27億円(同11.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益16億50百万円(同3.9%増)と期首の予想に変わりはありません。

また、受注高は1,850億円、受注残高は2,100億円と、いずれも高水準を見込んでおり、今後、確実に売上に反映させてまいります。

**Q3** 国内外の関係会社の状況についても、お聞かせください。

**A3** 当社の関係会社につきましては、国内9社・51拠点、海外16社・25拠点、各々の会社で働く従業員は合わせますと約670名になり、数十年前と比べて規模が拡大してきております。関係会社の業績は連結決算に組み込まれますので、各社の進捗状況は注視しております。

現進行期は、国内子会社では日本ダイヤバルブ株式会社(医薬、化学業界向けが好調であり業績を伸ばしております)。また、海外子会社ではTsurumi (Europe) GmbHグループがヨーロッパ地域の社会インフラ需要を取り込み、建設工事用の水中ポンプ事業が過去最高の業績を更新する見込みであります。東南アジアの子会社であるSeika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.やSEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITEDもまずまずの業績であり計画通りに進捗しています。

一方、業績が思うように上がっていない子会社もあり、具体的には西華デジタルイメージ株式会社、西暉貿易(上海)有限公司、Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.の3社であります。各社それぞれに課題を抱えており、現在、関係会社戦略本部が中心となってその解

決に向けて注力しています。各社の立て直しには、しばらく時間がかかるかもしれませんが、できるだけ早く業績の回復を果たすべく、一丸となって取り組んでまいります。

**Q4** 3か年の中期経営計画「CS2020」が最終年度となりましたが、総仕上げに向けて注力されていることについてお聞かせください。

**A4** 中期経営計画「CS2020」につきましては、長期経営ビジョン「10年後の西華産業グループ像」に向けての第1ステップ「事業基盤拡大への基礎固め」として位置付け、数値目標である当期純利益を最終年度27億円に設定し取り組んでまいりました。

残念ながら、1年目、2年目に加え最終年度に当たる当期も大きく目標と乖離する見通しとなり、株主の皆様のご期待を損なうものとなりました。

来年4月より開始予定の次期中期経営計画の検討を進めるに際し、本中期経営計画「CS2020」の目標未達の要因を細かく精査し始めております。それぞれの事業を取り巻くビジネス環境の分析や課題の抽出などを行い、実効性の高い戦略や施策を策定し確実に実行することで業績向上に取り組んでまいります。

この様に業績が厳しい状況のなかでも、本中計期間において新たに取り組み始めたビジネスが花を咲かせ始めております。電力事業では敦賀事務所開設により北陸地区の深耕が進み利益が出始めております。また、ベトナム現地法人も日系顧客から数々の受注を得るなど計画以上の順調な滑り出しとなっており、来期以降おおいに期待が出来るビジネスとなりつつあります。

当期も残すところ4ヵ月弱となりましたが、中期経営計画の数値目標に少しでも近づけるように努力するとともに、長期経営ビジョンに掲げる「強固な経営基盤を有したグローバル企業であり続ける」を念頭にしっかりと経営に取り組んでまいります。

**Q5** 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

**A5** 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして、連結配当性向35%を目途としております。2020年3月期の配当金につきましては、中間配当20円の実施に加えて、期末配当25円の年間45円とさせていただく予定です。

また、現在、来年3月19日までの期間で40万株、7億円を上限とする自己株式を取得中であり、引き続き資金需要と業績を総合的に勘案して、株主様の利益還元に向けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

電力事業

電力会社や共同火力向けに、ボイラー、ガスタービンなどの発電設備、環境保全設備の販売。原子力発電所向けにセキュリティ設備や消火設備などを販売しております。



電力プラント

2020年3月期第2四半期の概況

売上高  
**21,203**百万円  
(前年同期比)△29.6%

セグメント利益  
**833**百万円  
(前年同期比)+1.1%

発電所向け大型部品等の受渡が下半期に繰り延べされたものの、原子力発電所向けなど中・小口案件の積み上げにより、セグメント利益は833百万円となりました。

化学・エネルギー事業

化学会社、石油会社、製紙会社、鉄鋼会社、鉄道会社向けに発電設備やプロセス用製造設備を販売しております。



化学プラント

2020年3月期第2四半期の概況

売上高  
**14,951**百万円  
(前年同期比)△63.4%

セグメント利益  
**267**百万円  
(前年同期比)△43.5%

一般産業向け設備の売上は前年同期並みで推移したものの、発電設備の大口売上が減少したことにより、セグメント利益は267百万円となりました。

産業機械事業

新素材、繊維、フィルムやプラントエンジニアリングなど幅広い産業分野の顧客に対して、設備や機器を販売するほかメンテナンスも提供しております。

また、電気自動車向けのリチウムイオン電池用関連設備の販売も行っております。



リチウムイオン電池

2020年3月期第2四半期の概況

売上高  
**20,456**百万円  
(前年同期比)△2.1%

セグメント利益  
**524**百万円  
(前年同期比)△1.1%

リチウムイオン電池用関連設備の売上が減少したものの、連結子会社の日本ダイアバルブ株式会社の業績が好調に推移したことにより、セグメント利益は524百万円となりました。

素材・計測事業

電子機器用プリント基板製造関連装置などを販売しているほか、先端技術を駆使した計測機器を始め、産業機械向けの環境保全用計測装置や、水処理関係装置などを幅広く扱っております。



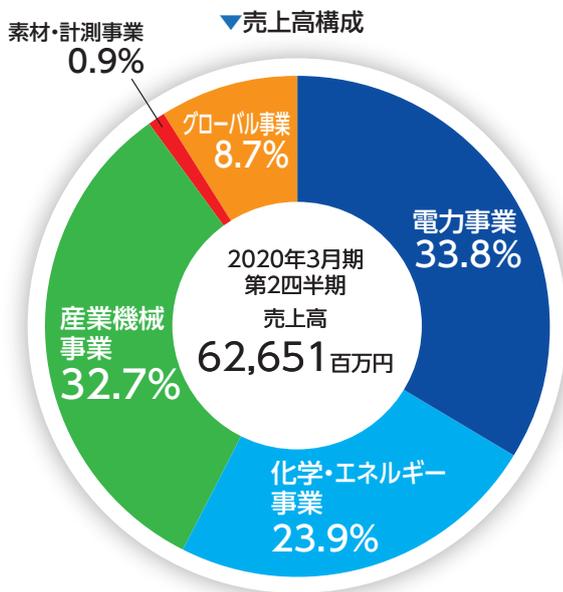
レーザー式ガス濃度計

2020年3月期第2四半期の概況

売上高  
**559**百万円  
(前年同期比)+1.3%

セグメント利益  
**△85**百万円  
(前年同期はセグメント損失230百万円)

ガスモニター等の計測機器の売上が順調に推移した結果、セグメント損失は85百万円と前年同期に比べ改善いたしました。



グローバル事業

本事業は海外12か国、25拠点で事業展開中であり、西華グループとしての総合力を発揮し、国内外における産業界の発展に貢献しております。

欧州：工用水中ポンプの販売・レンタル事業、産業用ロボットの販売など

北米：日系自動車業界向け基板実装関連設備の販売など

アジア：化学・繊維その他一般産業向け機械設備、原材料の販売など



Tsurumi (Europe) GmbH 取扱製品：水中ポンプ

2020年3月期第2四半期の概況

売上高  
**5,480**百万円  
(前年同期比)+2.9%

セグメント利益  
**172**百万円  
(前年同期比)+61.0%

欧州子会社のTsurumi (Europe) GmbHグループの業績が順調に推移した結果、セグメント利益は172百万円と伸長しました。

## 当社の東南アジアへの取り組みのご紹介



- ①シンガポール支店**  
 東南アジアに進出の日系企業向けに産業機械等の販売やアフターサービスを提供しています。
- ②ベトナム出張所**  
 ベトナムにおける市場や顧客動向等のマーケティング活動を行っております。
- ③Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.**  
 エネルギー産業、環境保全、自動車、電子、化学、繊維、食品、製菓産業を中心に、タイおよび東南アジアで、様々な産業機械、電気機器および関連材料の取引やアフターサービスを提供しています。
- ④Asahi Sunac Machinery Service (Thailand) Co., Ltd.**  
 鍛造機械とコーティング装置の技術に関するコンサルティングと提案を提供するとともに、一流の機械の設置と保守サービスを提供しています。
- ⑤NDV (Thailand) Co., Ltd.**  
 日本ダイヤバルブ株式会社の子会社で、東南アジア諸国向けにダイヤバルブおよびボールバルブの製造、販売、アフターサービスを行っています。化学、環境、水処理サービス、鉄鋼、医療、製菓、電力産業、セクターなど幅広い分野で使用されています。
- ⑥Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.**  
 タイにおいてプリント基板の製造を行っており、主に同国進出の日系企業向けに販売を行っています。
- ⑦SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITED**  
 各種機械、電子・通信機器、計器、工具、関連資材等の販売据付工事・エンジニアリングアフターサービスなどの輸出入、販売代理業務を行っています。

## 当社のESGへの取り組みのご紹介



### 社会責任 Social

社会責任への取り組みの中でも特に社員の健康促進に力を入れております。

春の法定健診に加え、秋には生活習慣病健診または人間ドックを実施、インフルエンザ予防接種、検診時腫瘍マーカー費用の会社負担、有給休暇取得推進。そして、プレミアムフライデーに併せてカジュアルデーを実施するなど、働きやすい職場環境の充実に向け働き方改革を進めております。

### 環境 Environment

当社はESGへの取り組みの一環として環境配慮商品の拡販に努めており、その一例として「レーザー式ガス濃度計」をご紹介します。



厳しい測定環境でも早く正確に測定できる本計器の特徴を利用し、主に焼却炉の燃焼調整用としてO<sub>2</sub>（酸素）やCO（一酸化炭素）、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）、H<sub>2</sub>O（水分）を測定し、燃焼効率の改善を行い排ガスの低減などに利用されています。また、製鉄、化学、石油精製等でのプロセス上で環境に影響あるガスの規制値管理等でも利用され、効率よいプロセス処理をすることで省エネにもつながっております。

このような環境配慮商品の拡販を通じ、環境保全に取り組むことで社会貢献に努めてまいります。

### ガバナンス Governance

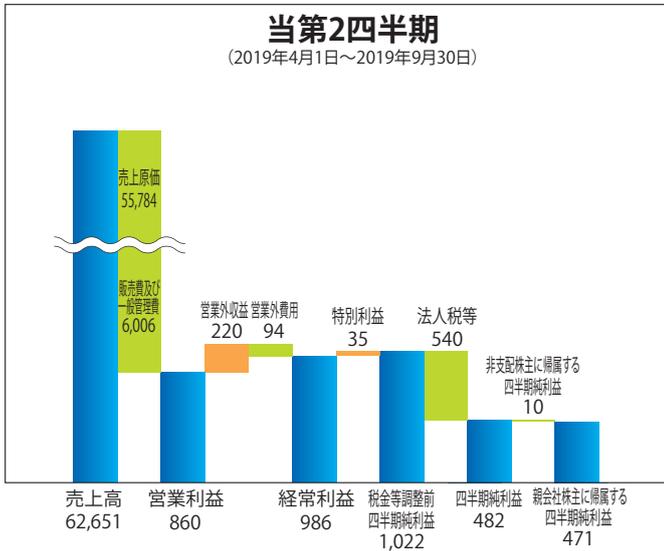
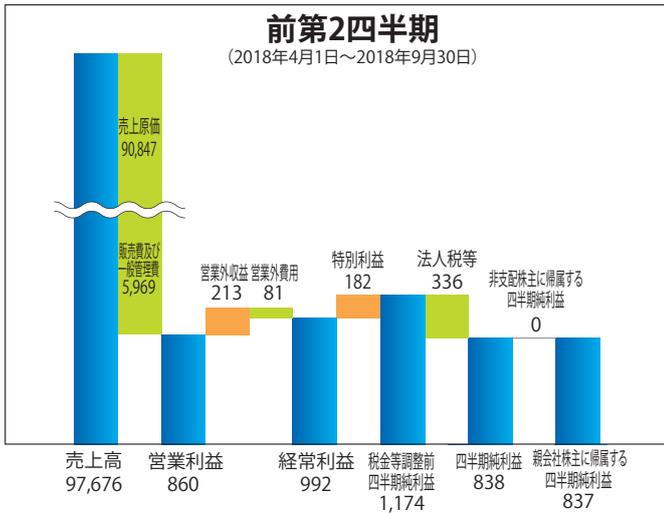
ガバナンスに対する取り組みとして、継続的に「取締役会の実効性評価」を実施しております。

代表取締役および取締役候補に対する「指名審査委員会」の設置、さらには取締役に対する「報酬審査委員会」の設置等、取締役会の機能強化を図っております。

当社は持続的成長を実現し企業価値を向上するために、引き続きガバナンスの体制を充実してまいります。

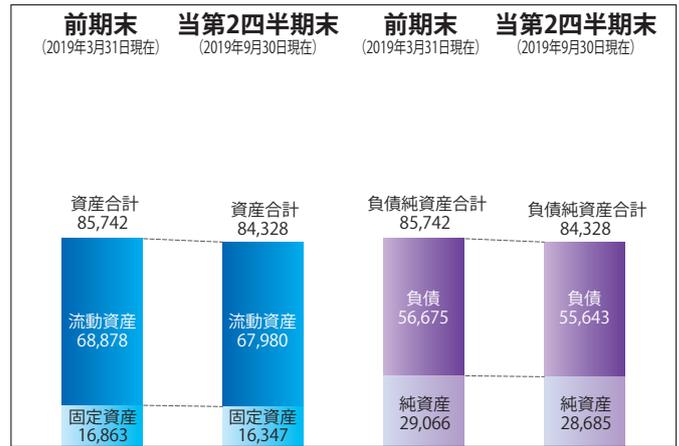
損益計算書より

(単位:百万円)



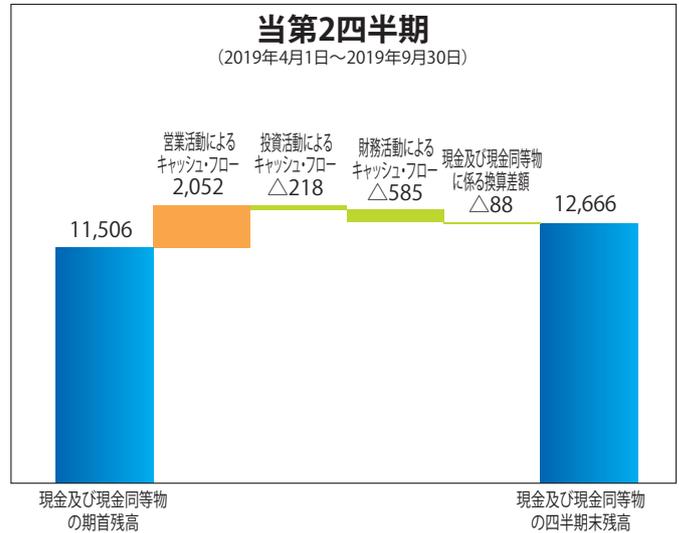
貸借対照表より

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書より

(単位:百万円)



主要財務指標ハイライト

単位:百万円

	前期末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)	増減 (%)
資産合計	85,742	84,328	△ 1.7
流動資産	68,878	67,980	△ 1.3
固定資産	16,863	16,347	△ 3.1
負債合計	56,675	55,643	△ 1.8
流動負債	51,500	50,779	△ 1.4
固定負債	5,175	4,863	△ 6.0
純資産合計	29,066	28,685	△ 1.3
負債純資産合計	85,742	84,328	△ 1.7

	前第2四半期 (2018年4月1日～2018年9月30日)	当第2四半期 (2019年4月1日～2019年9月30日)	増減 (%)
売上高	97,676	62,651	△ 35.9
営業利益	860	860	0.0
経常利益	992	986	△ 0.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	837	471	△ 43.7

## 当社の概況 (2019年9月30日現在)

**設立年月日** 1947年(昭和22年)10月1日

**資本金** 67億28百万円

**事業所** (国内) 本社：東京都千代田区丸の内三丁目3番1号  
 大阪支社：大阪市北区堂島浜一丁目4番4号  
 支店等：札幌、室蘭、横浜、名古屋、敦賀、岡山、福山、東広島、広島、徳山、山口、四国、福岡、北九州、長崎、大分、延岡  
 (海外) 支店：台北、ソウル、シンガポール  
 駐在員事務所：ベトナム

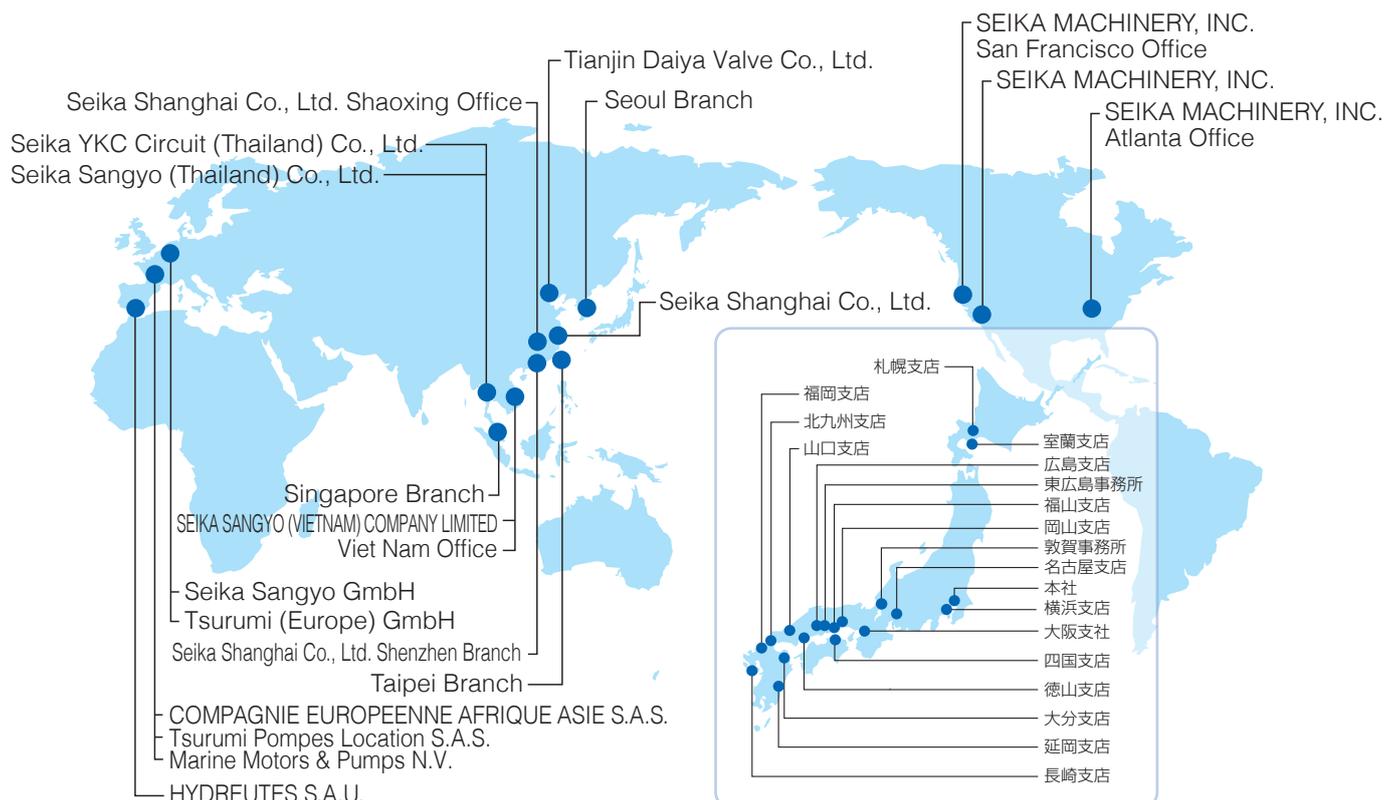
**従業員数** 981名(連結) 310名(単体)

**連結子会社** (国内) 日本ダイヤバルブ株式会社  
 株式会社竹本  
 西華デジタルイメージ株式会社  
 敷島機器株式会社

(海外) Seika Sangyo GmbH(ドイツ)  
 Tsurumi (Europe) GmbH(ドイツ)  
 COMPAGNIE EUROPEENNE AFRIQUE ASIE S.A.S.(フランス)  
 HYDREUTES, S.A.U.(スペイン)  
 Tsurumi Pompes Location S.A.S.(フランス)  
 Marine Motors & Pumps N.V.(ベルギー)  
 SEIKA MACHINERY, INC.(アメリカ)  
 西嘩貿易(上海)有限公司(中国)  
 天津泰雅閥門有限公司(中国)  
 Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.(タイ)  
 Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.(タイ)  
 SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITED(ベトナム)

## 役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	櫻井 昭彦
取締役専務執行役員	山下 真佐明
取締役常務執行役員	高橋 正憲
取締役常務執行役員	川名 康正
取締役上席執行役員	後藤 基
取締役(社外取締役)	白井 裕子
取締役(社外取締役)	深尾 隆久
監査役(常勤)	高橋 昌志
監査役(常勤)	平山 龍彦
監査役(社外監査役)	森 好伸
監査役(社外監査役)	毛野 泰孝
上席執行役員	福里 克彦
上席執行役員	横山 幸則
上席執行役員	増田 博久
執行役員	高橋 紀行
執行役員	碓井 一俊
執行役員	尾上 一彦
執行役員	長谷川 智昭
執行役員	尾崎 雅一



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711(通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL <http://www.seika.com/>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### ◆お知らせ◆

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- (2) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- (3) 市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

## 株式の状況



株式の状況 (2019年9月30日現在)

### 株式数および株主数

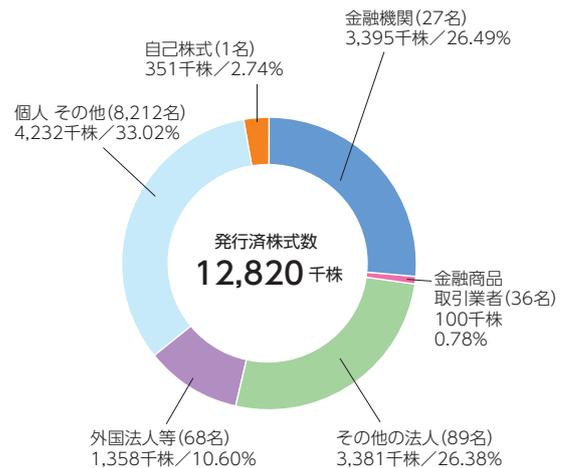
発行可能株式総数 37,705,800株  
 発行済株式の総数 12,468,826株  
(自己株式351,824株を除く)  
 株主数 8,433名

### 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱日立パワーシステムズ株式会社	826	6.63
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	711	5.71
株式会社三菱UFJ銀行	400	3.21
株式会社山口銀行	352	2.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	351	2.82
日機装株式会社	318	2.56
三菱電機株式会社	286	2.30
株式会社鶴見製作所	267	2.14
三菱化工機株式会社	250	2.01
株式会社三井住友銀行	234	1.88

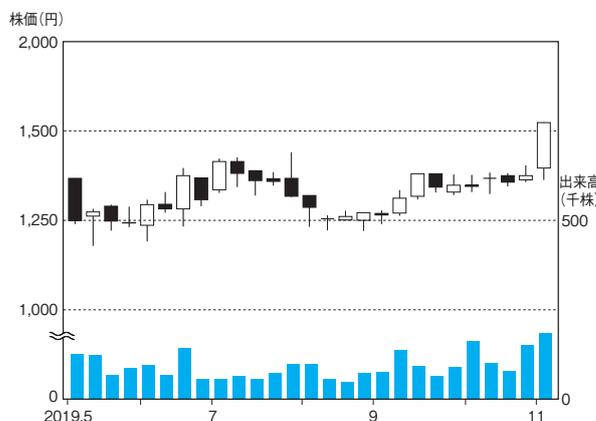
(注) ①千株未満は切り捨てて表示しております。  
 ②持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
 ③2019年8月7日付で公表の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、フィデリティ投資株式会社が2019年8月7日現在で919,300株(保有割合7.17%)を所有している旨が記載されております。しかし、当社として2019年9月30日現在における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

### 所有者別株式分布状況



(注) ①千株未満は切り捨てて表示しております。  
 ②発行済株式数には自己株式148千株を含んでおります。

### 株価および株売買高の推移



西華産業株式会社

SEIKA CORPORATION

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 (新東京ビル)

Tel 03-5221-7101 URL <http://www.seika.com/>

<http://www.seika.com/>

西華産業

検索